

競技注意事項

1. 本競技会は、2026年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会要領により実施する。
2. 競技場使用について注意
 - (1) 更衣は、管理棟内の更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。
 - (2) 大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと
 - (3) メインスタンドの上段部にのみテントの設置ができる。
 - (4) 管理棟内会議室をすべての来場者を対象にクールスポットとして開放する。また男女それぞれの更衣室も指導者・選手に限り、クールスポットとして利用できる。

3. 競技者招集

- (1) 招集時間は下記のとおりとする。

1次招集	招集所にて	競技開始時刻1時間10分前開始、50分前に完了
2次招集	競技場所にて	競技開始時刻30分前に完了

- (2) 招集場所及び方法は次のとおり。

- ① 1次招集は、招集場(競技本部、上の園路沿いスペース)で行う。

ア. 提示されたリストの自分の番号に○をつける。
イ. アスリートビブスの点検は2次招集(現地)で受けるのでまずは自分で確認しておく。
ウ. ア〜イが完了したら、各自で競技場所(現地)へ移動する。

- ② 2次招集は、競技場所(現地)で行う。(競技箇所図を参照)

カ. 代理人は認めない。
キ. 競技役員の指示に従って、最終コール及びアスリートビブスの点検を受ける。
ク. 2次招集完了時刻に現地にいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

- (3) 欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取ること。

4. 用器具について

- (1) 「ポール」は私物の使用を認める。「ポール」は跳躍場で競技役員から競技開始前に検査を受けること。

5. 競技について

- (1) 競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- (2) アスリートビブスは、胸または背につけるだけでもよい。
- (3) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- (4) 棒高跳のバーの最初の高さは(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
また、バーの上げ方も、5cm以上で(出場者の記録を考慮し)、競技開始前に告知する。
- (5) 競技者とコーチ等指導者のコミュニケーションの場所として、競技区域外にコーチ席を設ける。競技者への助言はコーチ席から近隣の関係者と距離をとって行うこと。コーチ等指導者がコーチ席内から選手とコミュニケーションするのは助力にあたらぬ。
- (6) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。(フィールド競技者は、競技区域外から撮影された録画映像を録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。ただしコーチ席前に限る)

シューズについて

- (7) 靴底の厚さは、トラック競技、フィールド競技ともに20mm以内とする。
- (8) スパイクピンは長さ12mm以内の平行ピンを使用すること。
※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイク(ニードルピン)は使用できない。
※素足での競技は禁止する。

6. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。
プログラム表紙及び園内各所に掲示する二次元コードを読み取るか <https://result.hokutan-rk.jp/> にアクセスすることで閲覧することができる。

7. その他

- (1) 競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自で全て持ち帰ること。

- (3) 競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。(保険対象となる場合有り)
- (4) 雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子があるときは、主催者の判断で競技を一時中断する。
- (5) 熱中症特別警戒情報が発令された場合、又は荒天やウィルス性の感染症など競技運営および安全確保に支障をきたすと主催者が判断した場合は、大会を中止する。

グラウンド内競技箇所図

